

2.13. 情報環境デザイン学講座

2.13.1. 講座の概要

(a) 講座の簡単な説明、キーワード

21世紀の高度ユビキタス情報化社会では、超高速ネットワークやモバイル・コンピューティングを基盤とした知的なマルチメディア情報システムが非常に重要な役割を果たすと考えられる。情報環境デザイン学講座では、様々な情報ネットワーク環境をデザインし、それらを利用した新しいマルチメディア技術に関する研究を行っている。インターネットや無線LANを利用して、防災や災害時に有用な情報の交換を可能とするシステムや、超高速ネットワーク上で品質の良い映像と音声による通信を行うシステムの研究開発に取り組む一方、人間が持つ感性や創造性を発揮できる検索手法やプレゼンテーション方法の研究を進めている。そして、これらの技術を基盤として、バーチャルリアリティ技術を用いた仮想空間を構築し、人間とコンピュータのより良い関係を築くための情報環境の実現を目指している。

キーワード： マルチメディア通信プロトコル、次世代インターネット、ギガビットネットワーク、無線LAN、柔らかいネットワーク、QoS、エージェント、感性情報処理、感情認識、バーチャルリアリティ技術、Tele-Immersion技術

(b) 年度目標

- JGN2plusを基盤とした先端的ネットワーク技術研究の推進
- COE採択に結びつくJournalおよび国際学会で発表の推進
- 卒業研究生は国内学会、大学院生は国際学会で全員発表する
- 防災・災害情報ネットワーク構築を通して地域貢献をする
- これまでの研究室内の就職率100%を維持する

(c) 講座構成教員名

柴田 義孝, 戴 瑩, 橋本 浩二

(d) 研究テーマ

- ギガビットネットワークを基盤としたやわらかい次世代インターネット技術の研究
- VR技術とエージェントによるデジタル伝統工芸システムの応用研究
- 無線と有線の相互利用による大規模防災・災害情報ネットワークシステムの研究
- 感性情報処理法による次世代マルチメディアデータベースシステムの研究
- 高速ネットワークを利用した知的遠隔ヘルスケア支援システムの研究

(e) 在籍学生数

博士(前期) : 5名, 博士(後期) : 2名, 卒研究生 : 7名, 研究生 : 0名